

# 朗読会

朗読会は講演とセットの催しです。

6月24日(土) 13時35分～14時15分

<八十二別館 4階 AV研修室>

駒村則子 -----

『きけわだつみのこえ』遺書と所感(上原良司)

『胸に穴があいた一女子挺身隊員の記録一』



<駒村則子さん>

ナレーター・フリーアナウンサー。上田市出身。朗読会の企画出演、音読講座、朗読講座の講師他、声の教室を主宰。第14回青空文庫朗読コンテスト銀賞受賞

7月7日(金) 13時35分～14時15分

<下諏訪町立図書館 2階 会議室>

駒村則子 -----

『葦折れぬ一真実ノート』(千野敏子)

『旅路』(藤原てい)



<伊東秀一さん>

テレビ信州解説委員兼アナウンサー。信州大学寄付講座講師(客員)。上田市・無言館の朗読会『戦争を読む』出演や、ドキュメンタリーのナレーター多数。2006年NTV系アナウンス大賞特別賞受賞

8月11日(金) 13時35分～14時15分

<八十二別館 4階 AV研修室>

伊東秀一 -----

「昭和8年上田市附近防空演習」の記録

『篠ノ井の空襲一篠ノ井空襲体験記録集』



昭和20年8月13日の空爆により破壊された国鉄長野機関区。左側は仏閣型の旧長野駅(長野県立歴史館提供)



(信濃毎日新聞社提供)

# 信州横断

## 昭和・現代史 講座

～現代の視点から信州の昭和・現代史を学ぶ～

第1期 令和5年6月～11月



更級拓殖訓練所(現更級農業高校)正門前に整列した満蒙開拓青少年義勇軍。昭和12年から20年8月にかけて北信地域から1,491名の若者らが送り出された。(『写真記録 長野・千曲の太平洋戦争』(しなのき書房2005年)より転載)

★ 受講料(各回)500円(当日会場にて申し受けます)

<お問い合わせ>

長野県図書館協会事務局

TEL.026-217-9201

E-mail nla@nagano-la.com

<事前申込先>

公益財団法人 八十二文化財団

(ホームページやハガキで申し込んでください)

〒380-0936 長野市岡田 178-13

https://www.82bunka.or.jp/

TEL.026-224-0511・FAX.026-224-6452

E-mail bunka@82bunka.or.jp

主催 長野県図書館協会・公共図書館部会

共催 公益財団法人 八十二文化財団 県立長野図書館

上田情報ライブラリー 塩尻市立図書館 下諏訪町立図書館

後援 信濃毎日新聞社 信濃史学会 長野郷土史研究会

NPO 法人上田図書館倶楽部 上伊那郷土研究会

- ★ いずれも講演後に意見交換会があります。
- ★ 朗読会の詳細は裏面を参照してください。

### (1) 昭和史を語る

6月24日(土) 13時30分～16時 八十二別館 4階 AV研修室  
 13:35～14:15 朗読 『きけわだつみのこえ』『胸に穴があいた一女子挺身隊員の記録』  
 14:20～15:50 講演 「私の昭和史」 講師：田中欣一



<田中欣一氏>

### (2) 戦争への道

7月7日(金) 13時30分～16時 下諏訪町立図書館 2階 会議室  
 13:35～14:15 朗読 『葦折れぬ—真実ノート』『旅路』  
 14:20～15:50 講演 「二・四事件と諏訪地域—この事件がもたらしたもの—」  
 講師：小平千文



<小平千文氏>

### (3) 戦時中の長野—長野空襲と上田市防空演習、疎開

8月11日(金) 13時30分～16時30分 八十二別館 4階 AV研修室  
 13:35～14:15 朗読 「昭和8年上田市附近防空演習」の記録 『篠ノ井の空襲—篠ノ井空襲体験記録集』  
 14:20～15:20 講演① 「1945.8.13 長野空襲の真実—米軍資料から読み解く」 講師：大日方悦夫  
 15:25～16:25 講演② 「長野県に疎開した文化人50人」 講師：小林一郎

#### ○田中欣一

民俗・日本思想史家。「白馬小谷研究会」主宰。惜命(せきめい)会(歩くことによって生き方を創造する)代表。道・峠・石仏・道元禅師・生と死・文学碑などの研究に従う。第24回(2017年度)信毎賞受賞。主な著書・編書『新更科紀行』『よみがえる旅』『塩の道千国街道』『生と死の風景』『信州の大紀行シリーズ』等

#### ○小平千文

元長野県高等学校社会科教諭、長野県史常任編纂委員、長野県立歴史館文献資料課専門主事、上田小県近現代史研究会会長ほか。共著『長野県の歴史』(山川出版社)『私は何をしたか 栗林一石路の真実』(信濃毎日新聞社)など

#### ○小林一郎

長野郷土史研究会会長。編著『善光寺縁起物語』『門前町伝説案内 善光寺表参道歩きの基礎知識』等、共著『伝説の寺、善光寺』『語り紡ぐ絵解きのふるさと信濃』等

#### ○大日方悦夫

元県立高等学校長。現在、大学と専門学校で教える傍ら、長野県の近現代史研究に取り組む。著書『満洲分村移民を拒否した村長—佐々木忠綱の生き方と信念』(第32回地方出版文化功労賞奨励賞受賞)、『1945.8.13 長野空襲の真実』等

#### ○竹下欣宏

信州大学学術研究院教育学系准教授。専門は第四紀地質学。第四紀と呼ばれる地球史の中で最新の時代の地層や地形を対象として研究をしている。著書『長野県の火山入門』、共著『野尻湖のナウマンゾウ—市民参加でさぐる氷河時代(共著)』等

### (4) 信州の災害史と防災について

9月7日(木) 13時30分～16時 八十二別館 4階 AV研修室  
 13:35～14:35 講演① 「長野県の火山と防災」 講師：竹下欣宏  
 14:45～15:45 講演② 「絵図や伝承にみる信州の災害史—一千曲川と犀川の流域—」 講師：山浦直人

9月14日(木) 13時30分～16時 塩尻市市民交流センターえんぱーく 3F 多目的ホール  
 13:35～14:35 講演① 「長野県の火山と防災」 講師：竹下欣宏  
 14:45～15:45 講演② 「絵図や伝承にみる信州の災害史—犀川・梓川・牛伏川—」 講師：山浦直人

### (5) 特別講座

10月14日(土) 13時30分～15時30分 県立長野図書館 3階 会議室  
 13:35～15:15 講演 「戦争とジャーナリズム—桐生悠々の時代、そして今—」  
 講師：丸山貢一

### (6) 特別講座

11月2日(木) 13時30分～15時30分 八十二別館 4階 AV研修室  
 13:35～15:15 講演 「アジア・太平洋戦争戦争下の信州—航空特攻隊となった信州人—」 講師：伊藤純郎

### (7) 戦時中の出版・文化弾圧、図書館統制と検閲等

11月30日(木) 13時30分～16時 上田情報ライブラリー・セミナールーム  
 13:35～14:35 講演① 「戦時下、弾圧された信州の文化運動」 講師：酒井春人  
 14:45～15:45 講演② 「戦時中の県下の図書館統制と検閲・図書没収、戦後の図書館の自由に関する宣言について」 講師：宮下明彦



<丸山貢一氏>



<伊藤純郎氏>

#### ○山浦直人

長野県立歴史館名誉学芸員 長野県建設部在勤中から歴史災害や土木遺産等の調査研究、現地案内活動に取り組む。共著『蚕糸王国信州ものがたり』『信濃の橋百選』『善光寺地震と山崩れ』『ちくまがわ川ものがたり』

#### ○丸山貢一

信濃毎日新聞社論説顧問。信濃毎日新聞長野本社、大町支局、軽井沢支局で記者活動。99年、連載企画「介護のあした」のデスクを務め、日本新聞協会賞受賞。編集局報道部長などを経て2014年4月から23年3月まで論説主幹。1面コラム「斜面」や評論を執筆

#### ○伊藤純郎

筑波大学名誉教授 博士(文学)。専門は日本近代史。著書『満洲分村の神話 大日向村は、こう描かれた』『満蒙開拓 青年義勇軍物語 「鍬の戦士」の素顔』『特攻隊の〈故郷〉霞ヶ浦・筑波山・北浦・鹿島灘』『アジア・太平洋戦争を問い直す』等

#### ○酒井春人

龍鳳書房代表取締役、長野県出版協会代表。著書『図説穂高神社と安曇族』、共著「海人族の鉦山・砂鉄探し」(『現代「金印」考』所収)、「佐久間象山の思想試論」(『長野県近現代史論集』所収)、「長野県出版界の歩み」等

#### ○宮下明彦

長野県図書館協会会長、NPO 長野県図書館等協働機構理事長・「信州地域史料アーカイブ」制作中。元上田市立図書館・上田情報ライブラリー館長。編著『明日を開く図書館』、共著『課題解決型サービスの創造と展開』等